AgileWorks R3

PDF 埋め込みフォント利用ガイド

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに 4
1.1. 本書の目的 4
1.2. 対象読者 4
2. 概要 5
2.1. PDF へのフォント埋め込み 5
3. 利用までの流れ 6
3.1. 事前準備 6
AP サーバーへの配置 6
管理サイトからのアップロード方法 6
3.2. 埋め込みフォント設定 6
4. 留意事項 8
4.1. フォントの使用許諾 8
4.2. X-WebForm For AgileWorks プレビューでの制限 8
4.3. 外字フォント利用時の動作 8

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は AgileWorks のフォーム PDF において埋め込みフォントを利用する方法について説明します。

1.2. 対象読者

本書は、AgileWorks の基本的な管理機能及びフォーム作成に関する基本知識を持つ方を対象としています。

2. 概要

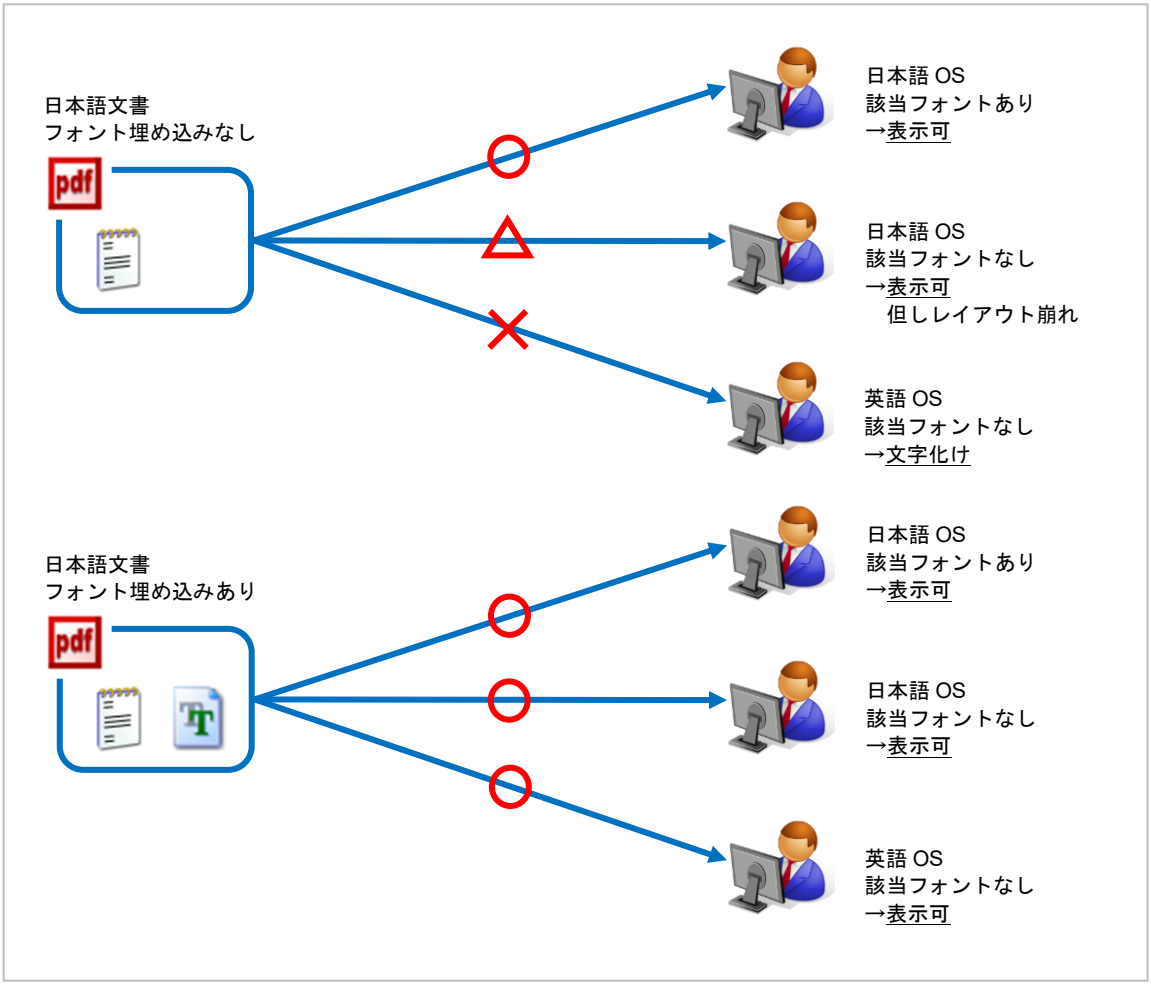
2.1. PDF へのフォント埋め込み

PDF では、表示に利用するフォントを PDF ファイル内に埋め込むことが可能です。

フォントを埋め込んだ場合、該当の PDF を表示する際には埋め込みフォントが利用される為、クライアント環境に依存せずに同じフォントで表示できます。
フォントを埋め込まない場合に、クライアントに該当フォントがインストールされていないと、利用する PDF リーダーが代替となる類似フォントを自動的に選択して表示します。
代替フォントは、PDF リーダーの種類やバージョン、PC にインストールされたフォント等に依存して決定される為、クライアント環境によって PDF の見え方が異なる可能性があります。

[埋め込みフォント未設定時の影響例]
・代替フォントが利用された結果、レイアウトが崩れて見える
・日本語フォントがインストールされていない英語 OS 環境で、日本語フォームを表示すると文字化けする
・外字を利用した場合に、他のクライアントでは表示できない
等

▼ 日本語文書 PDF における差異例



3. 利用までの流れ

AgileWorks の初期設定では、埋め込みフォントは「利用しない」設定の為、埋め込みフォントを利用するには、事前にフォントファイルを配置した上で、管理サイトからの設定が必要です。
埋め込みに利用するフォントファイルについてサーバーに直接するか、管理サイトからアップロードするかの 2 つの方法があります。

3.1. 事前準備

APサーバーへの配置

配置場所について特別な制限はありませんので、任意のディレクトリを利用します。
但し、ご利用の OS 等に依存する制限がある場合は、その制限に従って配置します。

> ⚠ 注意事項
> AP サーバーが複数台構成の場合は、全ての AP サーバーに対してフォントファイルを配置します。

管理サイトからのアップロード方法

本機能は R3.2.1 からの機能になります。
R3.2.0 の場合は、「AP サーバーへの配置」をご利用ください。
R3.2.0 以前からアップロードした環境の場合、AP サーバーの agileworks_system.properties に下記設定が必要になります。設定されていない場合、アップロード機能は使用できません。
ディレクトリパスには OS 等に依存する制限はありませんが、複数 AP サーバー構成の場合には共有ディレクトリである必要があります。そのため、「AW のインストールディレクトリ} /storage/font」辺りを推奨します。

```
Storage.Font.location={アップロードフォントファイル保存ディレクトリパス}
```

R3.2.1 以降をインストールしている場合は、推奨値が初期値として設定されています。

3.2. 埋め込みフォント設定

埋め込みフォントを利用するには、管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【書類・ワークフロー：埋め込みフォント設定】から設定を行います。

▼管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【書類・ワークフロー – 埋め込みフォント設定】



(設定ダイアログ)



X-WebForm For AgileWorks で選択可能なフォントファミリが一覧表示される為、それぞれに対応するフォントファイルの配置場所を指定します。

フォント名称	X-WebForm For AgileWorks 上のフォントファミリ
Gothic	ゴシック
Mincho	明朝
PGothic	P ゴシック
PMincho	P 明朝
Courier New	Courier
Arial	Arial
Times Roman	Times Roman
NSimSum	简体字(新宋体/NSimSum)
MingLiU	繁體字(明柳/MingLiU)
PMingLiU	繁體字(P 明柳/PMingLiU)
JhengHei	繁體字(JhengHei)

注意事項
・AP サーバーが複数台構成の場合は、各 AP サーバーにフォントファイルを配置する必要があります。
その際、フォントファイルを配置するディレクトリは全 AP で同じディレクトリにしてください。
・埋め込みフォント設定を利用する場合、外字フォント以外の全てのフォントに対してフォントファイルを設定する必要があります。

複数フォント内包時の指定
1 つのフォントファイル内に複数フォントを内包している場合は、ファイル名の後にインデックスを指定します。

例)
${SystemRoot}/Fonts/atled_font.ttc#0

複数フォントファイルの指定
ボールド用のフォントファイルが分かれているには、それぞれのフォントファイルを指定します。

例)
標準用：${SystemRoot}/Fonts/atled_font001.ttc
ボールド用：${SystemRoot}/Fonts/atled_font002.ttc

外字フォントの指定
外字フォントを利用する場合に限り、「外字フォント」の項目を設定します。
外字フォントを利用しない場合は設定の必要はありません。

フォントファイルの拡張子
外字フォント以外は、設定できるフォントファイルの拡張子に制限はありません。
外字フォントにかぎり、拡張子が「ttf」のフォントファイルを指定する必要があります。

4. 留意事項

4.1. フォントの使用許諾

フォントには、PDF への埋め込みに関する制限事項が規定されている場合があります。
フォントの配布元から提示されている使用許諾契約をご確認の上、PDF への埋め込みが許可されているフォントをご利用ください。
※使用許諾に関する不明点等につきましては配布元へお問い合わせください。



Microsoft 製品及び Microsoft 製品に付属するサードパーティ製フォントのライセンスに関する情報につきましては、以下のサイトより取得することが可能です。

https://docs.microsoft.com/en-us/typography/fonts/font-faq

4.2. X-WebForm For AgileWorks プレビューでの制限

X-WebForm For AgileWorks でフォーム作成時に PDF のプレビューが行えますが、この時に埋め込みフォント設定は有効となりません。
AgileWorks 側へアップロード後に確認が可能となります。

4.3. 外字フォント利用時の動作

外字フォントを指定した場合、各フィールドのフォントファミリ指定に関わらず、外字フォント領域の文字は外字フォントが埋め込まれます。